国労鹿児島

NO４７
2017年1月1日
発責　原村克則
鹿児島市武1丁目１７－２吉嶺ビル４０２

熱闘

明けまして
おめでとうございます
今年は熱く燃えて
運動を進めましょう

組合員、家族の皆様，新年明けましておめでとうございます。

昨年１０月、ＪＲ九州は株式上場を行いました。今後これ以上に「労働強化」や「安全」が軽視され、株主本位の効率が行われる事が危惧されます。

引き続き安全・安定輸送の確立と労働条件の改善を目指して、運動の強化をして行く必要があります。

また、組織強化・拡大の取り組みも真剣に取り組みたいと考えます。特に拡大は、僅々の問題から絶対的問題という意識を組合員全員が持って取り組んで頂くをお願いします。

地区本部執行委員会は、闘いの先頭に立つ決意を申し上げ、年頭の挨拶とします。

国労鹿児島地区本部執行委員長
原村　克則

地区本部学習会を開催しました

１２月１２日に地区本部において、九州本部水流組織部長を迎え、学習会を開催しました。

はじめに、水流組織部長から「平成２９年３月ダイヤ改正について」株式上場後初のダイヤ改正だが、特急４両ワンマンや駅体制の見直し、旅行センターの廃止等の効率化で１００以上の要員削減が行われる。お客さまへの安全・安定輸送とサービスがないがしろにされる。また、職場では今以上の要員減で不安が出されている。

今後一層の効率化が危惧される。九州本部としては反対の立場から運動を展開していきたい。

「組織拡大」については、最近組織拡大が停滞してきている。若い力等を活用について、もう一度総括して広範に訴える行動の展開をお願いする。拡大はまったなしの状況であることを確認して頂きたい。

また、安全・事故問題、ＪＲ北海道のローカル線問題については、全国で安全キャンペーンを取組むので各地区本部で創意工夫して取り組まれたい。」と提起された。

続いて、地区本部黒木副委員長から、「今回のダイヤ改正の効率化（４両ワンマン）については、地区本部としては、重大な決意で望んでいく。そのためにも組合員が真剣になって今以上の要求の掘り起こしとあらゆる取組みを進める事を強く求めたい。」と話された。

議論の後、地区本部として、**①組織拡大学習交流会を青年部を読んで必ず開催する。②ダイヤ改正の取り組みについては、各組織と連携して取組みを進める。③一人一人が自覚する組織体制の確立を図る。**事を確認した。

平成２９年３月ダイヤ改正の取組み

４両ワンマンをはじめとした効率化が提案されている、平成２９年３月ダイヤ改正に対して、国労鹿児島地区本部としては、提案の是正、改善に向け取組みを強化するものとします。

以下について提起しますので、各分会は取組みを進められたい。

①要求の集約については指示２号に基づき各分会が行うこと。

②各分会は要求の前進を図るために、職場での教宣活動を取り組むこと。

③産別含め各組織と連帯して取組みを進めること。

④交渉日程及び交渉委員については後日連絡する。

一人一要求を

全組合員の意思を結集しよう